

目次

まえがき

1. 平成 18 年度の研究成果	1
1.1 地球温暖化対策への対応に関する研究	3
1) 中分解能衛星データによる緑地の変遷解析手法に関する研究 【技術研究開発調査費】	5
2) 都市緑化樹木の CO ₂ ストック変化量把握に関する研究 【都市公園事業調査費】	11
3) 道路のり面を活用した早期樹林化工法の開発 【道路調査費】	15
1.2 自然共生・生物多様性の確保に関する研究	21
4) 外来種による生態系への影響とその回避手法に関する研究 【行政部費】	23
5) 公園緑地における生態的環境評価手法に関する研究 【都市公園事業調査費】	27
6) 動植物・生態系への事業影響予測と情報可視化手法の開発 【河川総合開発事業調査費】	31
7) 動植物・生態系、自然との触れ合い分野の環境保全措置と事後調査手法 に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	37
8) 外来種対策に対応した法面緑化工法の確立に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	39
9) 植生変化を考慮した効果的な植生管理手法に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	43
10) 特定外来生物の代替植生に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	47
11) 湧水池における希少生物の保全に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	53
1.3 都市公園・道路空間等の緑の確保に関する研究	55
12) 道路緑地の設計手法に関する研究 【道路調査費】	57

13) 樹木の根上り対策に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	59
14) 台風による倒木被害対策に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	65
1.4 緑豊かで良好な景観形成の支援に関する研究	69
15) 景観デザインの規範事例集策定調査 【景観形成事業関連調査費】	71
16) 景観重要樹木の管理指針の策定に関する研究 【都市公園事業調査費】	75
17) 歴史的イメージ形成に関する景観評価手法の開発 【都市公園事業調査費】	81
18) 隣接施設・街路等と連携した都市公園の整備・管理に関する研究 【都市公園事業調査費】	83
2. 発表論文等	89
2.1 論文	91
1) <i>MARTES</i> ISSUES IN THE 21ST CENTURY: LESSONS TO LEARN FROM ASIA	93
2) ラジオテレメトリを用いた個体追跡技術とデータ解析法	99
3) 栃木県と長野県の低山帯におけるオオタカ・サシバ・ハチクマ・ノスリの 営巣環境の比較	117
4) オオタカの幼鳥の分散過程と環境利用	125
5) 木曽川の礫河原に侵入した特定外来種オオキンケイギクの生育・開花特性と 種子生産	135
2.2 学会発表要旨等	139
6) 高分解能衛星画像と航空機レーザスキャナを用いた都市内樹林 の単木情報抽出	141
7) Revegetation on an artificial cut slope using forest topsoil with growth material spraying method	143
8) A restoration experiment on forest floor vegetation at Michinoku Lakewood National Government Park in the <i>Fagetea crenatae</i> region, Tohoku district, Japan	144
9) 人工林におけるノイヌ・ノネコを含む小・中型食肉目8種の時空間分布	145
10) 壁面緑化植栽基盤の吸音性能評価	146
11) グレイン論に基づく街路の下町イメージに関する研究	150
12) 利用者のコメントに基づく景観整備効果の分析	156

13) 景観アセスメント試行対象事業における景観整備方針の分析	164
14) 人工林における野生哺乳類の生息状況	170
2.3 雑誌・特集記事等	171
15) 「動物」、「植物」、「生態系」における環境影響評価事例の 分析と集成	173
16) 道路事業における景観の環境影響評価手法	179
17) バイオラングにみる立体緑化としての、都市環境改善効果について	181
18) 土壌シードバンクを活用した湿地植生の再生：現状と課題	186
19) 「これからの公園・緑化技術の展望」	192
20) 景観検討・評価のための計画デザイン・システムに関する研究	195
2.4 出典	201
参考資料（既刊資料一覧）	205